

河西便り



第7号 学び合いの授業づくり②号
2019.6.11 河西中学校

2019.5.29(水)和歌山市授業研究大会(学び合いの授業づくり)を実施しました!

本校では、新学習指導要領で強調されている「主体的・対話的で深い学びの実現」を目指した授業改善を進めようとしています。本校の取組を前回続き紹介します。

個人と平等を尊重したグループ

授業は少人数のグループが主体

目的

- ・どの子ども学びから逃さない。
- ・どの子ども学びに参加させる。
- ・どの子ども一人にしない。



共有の課題 教科書から課題を読み取る

形態

- ・グループは3~4人が良い。
- ・男女交互に座るが良い。
- ・質の高い課題が良い。



訊かれたら応えてね

根拠をもとに説明する

効果

- ・学び楽しさ、わかる喜び体験
- ・柔らかな人間関係とその成長



ジャンプの課題(難易度の高い課題) みんなにわかるように説明することで学びが深まる



教員相互の学び(同僚生の構築)



キッズサポートスクール

5月31日(金)和歌山県警察本部少年課サポートセンターから講師を招いて、1年生を対象にキッズサポートスクールを実施しました。法律を守るだけでなく、よく言われるLINEなどSNSのトラブルについて、中学生としてどう行動しなければならないのかをわかりやすく教えていただきました。また、木ノ本交番の方も来てくれ、自転車の盗難防止について話をしてくれました。



あいさつ運動

6月3日(月)から6月7日(金)の間、あいさつ運動が行われました。松江地区の地域の皆様やPTAの皆様、生徒の皆さん、先生方がたくさん参加してくれました。金曜日には、雨の降る中でしたが、いつも以上に活気のある校門の風景となりました。ご協力ありがとうございました。

